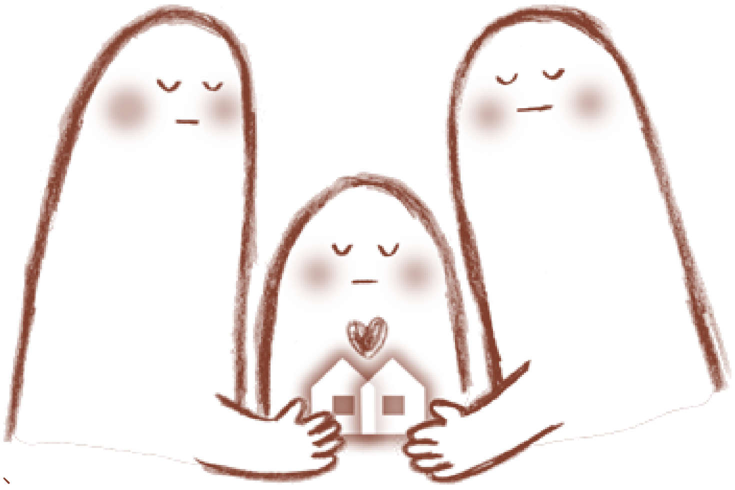
福岡市こども総合相談センター　NPO　里親養育支援共働事業

フォーラム 新しい絆（きずな） 第29回

参加費無料（定員120名先着順）

ふたつの家庭の子どもたち

里親さんのもとで暮らしている子どもは、
今育ててくれている里親さんと、
生み育ててくれた実親さんのことを、
大切な存在として心の中に思っています。
ふたつの家庭は、子どもにとっては、
どちらも大切な存在です。
時には、子どもは、ふたつの家庭のことで、
思い悩むこともあります。そんな子どもたちを、
わたしたちは、どのように支えていけばいいのでしょうか？



第1部

基調報告「家族再構築のとりくみについて」
報告：瀬里 徳子さん（福岡市こども総合相談センター こども支援課 里親係長）

基調講演

「子どもの中のふたつの家族」
講師：御園生（みそのお） 直美さん（The Tavistock &Portman NHS）

御園生直美（みそのおなおみ）さんプロフィール
臨床心理士、博士（心理学）：　NPO法人里親子支援のアン基金プロジェクト理事。法政大学卒業、白百合女子大学研究助手（助教）を経て、社会的養護の子どもへの心理的な支援を学ぶため、2009年よりイギリスに留学、里親子の支援に従事。

第2部

トークセッション　ふたつの家庭に育てられる子どもたち

日時　2019年3月23日（土）13:30〜16:30

会場　あいれふ 福岡市健康づくりサポートセンター 10F講堂
福岡市中央区舞鶴2−5−1

お問い合わせ 申し込み先
特定非営利活動法人 子どもNPOセンター福岡
TEL&FAX 092−716−5095
E-Mail info@npoccf.jp

託児：15名
事前にお申し込み下さい
裏面の申込用紙をご利用下さい

●主催：ファミリーシップふくおか（里親養育支援共働事業実行委員会）・福岡市

福岡アピール「社会全体に拡げよう、支えよう、里親と子ども」より

子どもは、家族と離れ、胸いっぱいの不安をかかえながら、その人を待っています。里親は、自分の家庭を社会に開き、その子を迎え、深く、温かいふところに抱きとめます。子どもと里親の出会い。地域に支えられ、子どもに愛と希望を取り戻し、生きる力を与える里親のものがたりを、私たちはたくさん経験してきました。

子どもたちが身をもって教えてくれたこと。それは、子どもにとっての「家庭」の大切さ。国連子どもの権利条約はいいます。「子どもは、その人格の完全なかつ調和のとれた発達のため、家庭環境の下で、幸福、愛情及び理解のある雰囲気の中で成長すべきである」と。家庭で暮らすことは、「子どもの権利」なのです。

皆様に呼びかけます。

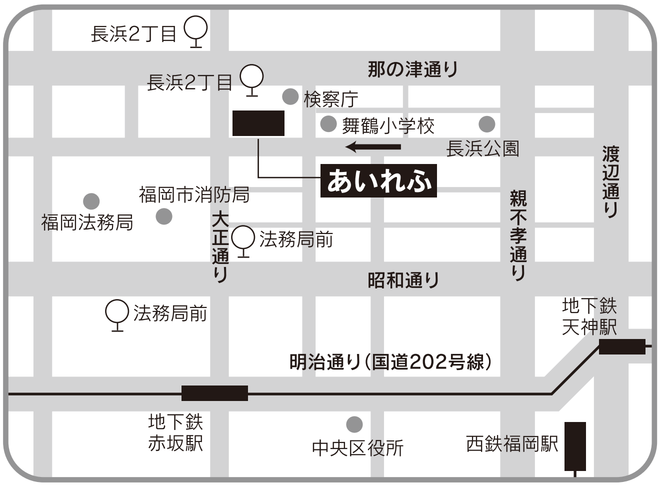
1. 家族と暮らせなくなった多くの子どもたちのことを、広く社会全体に知らせ、里親への参加を呼びかけましょう。
2. 「子どもと里親」、地域で支援を求めるすべての「子どもと家族」を支えるしくみづくりをめざし、市民、政府・行政、専門家、企業、メディアもつながりあって、協働しましょう。
3. 子どもが大人として社会に巣立っていく道のりを、社会全体で応援しましょう。
4. しくみづくりにあたっては、子どもの意見に耳を傾け、尊重しましょう。

（2015年9月「里親推進フォーラムin福岡」でのアピール文の一部です）

「新しい絆」プロジェクト

「家族と暮らせない子どもたちに里親家庭を」の願いを共有した、市民と行政の共働事業の別称です。実行委員会を「ファミリーシップふくおか」と呼びます。

福岡市では、これまでの市民・行政の共働が大きな力となり、社会的養護の子どものうち、里親家庭で暮らす子どもの割合は40%にまで上昇しました。施設から家庭への転換が国際的に進められていく中で、福岡市のこれまでの取り組みや経験が全国的に注目されています。



会場 **あいれふ 福岡市健康づくりサポートセンター**
福岡市中央区舞鶴２－５－１
＊公共の交通機関でお越しください。

フォーラム「新しい絆（きずな）」 参加申込票 2019. 3. 23

（ふりがな）
お名前

ご住所　〒

TEL /　　　　　　FAX /

E-mail

所属

託児希望の場合：お子さんの名前（ふりがな）・年齢

今後フォーラム等のお知らせ（メール）を希望　　する　・　しない　　お知らせを希望する方はEメールアドレスをご記入下さい。

お問い合わせ 申し込み先
特定非営利活動法人 子どもNPOセンター福岡
TEL&FAX 092－716－5095
E-Mail info@npoccf.jp
ホームページ　https://npoccf.jp

＊必要事項をご記入の上、このままFAXしてください。メールでも受付いたします。（記載内容は上記のとおりです）
＊子どもNPOセンター福岡のホームページからも申し込みできます。
※この名簿は、当日の受付やフォーラム等のお知らせ（希望者のみ）のために使用します。
また、実行委員会の中での参加者所属割合などのデータとして使用いたします。

障がい等で合理的配慮が必要な方はその旨をご記入ください